

- 1 日時 平成 年6月9日（金） 第5校時 4年3組教室
- 2 単元名 『海と環境』（3時間扱い/本時は第1時）
- 3 本時の目標 リンゴと切り分けたり、油を取り除く実験したりして、地球環境の価値について気づき、環境が悪化することへの影響について理解することができる。
- 4 本時の展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ	留意点
<p>【陸】</p> <p>地球にはどのくらいの陸があるだろうか？ リンゴを1/4に切ってみよう</p> <p>地球には人が住める場所がどのくらいあるか？ リンゴを1/8に切ってみよう</p> <p>地球には作物を採れる場所がどのくらいあるか？ リンゴを1/3 2に切ってみよう</p> <p>これは（小片）は、地球の何分の一でしょうか？ 3/10000。 人間が手に入れることのできる全ての水</p> <p>【海】</p> <p>3/4の海のうち、資源のある海がどのくらいある？ リンゴを1/16に切ってみよう</p> <p>ほんのわずかなリンゴの皮を透かしてみよう。 リンゴの皮をほんの少しむく。</p> <p>これは（小片）は、地球の何分の一でしょうか？ 3/4000。 生物的に非常に豊かな勇昇域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この薄い皮に全ての生き物が支えられて生きている。 ・植物性プランクトンの生息する透光帯 <p>地球上では、これらの極めて小さい部分で、ほとんど全ての生き物を支えている。</p> <p>どうしてこの鳥は油まみれになっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油が流れ出してしまった。 <p>【資料】鳥の写真、海に重油が流れる絵</p> <p>どの道具を使えば、油まみれの鳥を事前に助けることができたろうか？ 実験をして確かめよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各班に水の入ったボウルと道具を配布する。 (2) 誰がどの道具を使って油を取るか決める。 (3) どの道具が一番油をとることができたかを見つける。 <p>鳥の羽が一番とれる。鳥などの動物が犠牲になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の道具でも、飲める水に戻るほど油は取れない。 <p>一度汚れた海は元には戻らない。海を汚してはいけないんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度は、海上保安庁の人の話を聞こう。 	<p>準備物 リンゴ、テーブルナイフ 地球儀、皿、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リンゴを二人に一つ配る ・2人組で、一人が切る役もう一人がグラフを描く <p>役割を交代する。</p> <p>油まみれの鳥の写真</p> <p>ワークシート</p> <p>準備物 サラダ油、ボウル、廃油、羽、ナイロン、綿棒、砂、半紙、ビニール、など</p> <p>ワークシート</p>